

# 産業建設常任委員会会議録

令和6年12月13日(金曜日)

鹿 角 市 議 会

出席委員等（6名）

委員長	成田哲男	副委員長	湯瀬弘充
委員	浅石昌敏	委員	栗山尚記
委員	舘花一仁	委員	戸田芳孝

---

欠席委員（0名）

---

事務局出席職員

書記 小田嶋真人

---

説明のため出席した者の職氏名

産業部長	大里豊	建設部長	中村修
産業部次長 兼 産業活力課長	金澤寛樹	建設部次長 兼 上下水道課長	大森誠
農業振興課長	佐藤寛	農地林務課長	北方康博
産業活力課政策監 兼 ゼロカーボン推進室長	阿部卓也	都市整備課長	田口和宏
都市整備課技術監 兼 道路河川班長	金澤光浩	種苗交換会事務局長	山崎孝人
農業委員会事務局長	古田渡	農業振興課主幹 兼 構造改革推進班長	丸岡正則
農業振興課主幹 兼 ブランド作物推進班長	石木田慎	農地林務課主幹 兼 農地整備班長	柳舘秀人
都市整備課主幹 兼 計画管理班長	土舘広人	都市整備課主幹 兼 建築住宅班長	小野寺裕一
上下水道課主幹 兼 管理班長	美濃山伸也	上下水道課主幹 兼 上下水道班長	目時浩英
種苗交換会事務局主幹	熊谷純明	農業委員会事務局主幹	阿部友美範
農業振興課副主幹	阿部美紀子	農地林務課副主幹 兼 森林経営管理班長	青山真
産業活力課副主幹 兼 観光交流班長	泉澤純	産業活力課副主幹 兼 商工振興班長	鎌田学
都市整備課副主幹	村木進悟	農業委員会事務局副主幹	齊藤美奈子

午前 10 時 00 分 開会

### 【開 会】

○成田委員長 委員の出席が定足数に達しておりますので、ただいまより産業建設常任委員会を開会いたします。

### 【委員長挨拶】

○成田委員長 挨拶は省略させていただき、さっそく会議に入りたいと思います。

本日の会議は、去る 11 月 29 日の本会議において、当委員会に付託されました議案 4 件について、それぞれ審査をお願いするものであります。当局から詳細なる説明を受け、慎重に審査してまいりたいと思います。

ここで、委員及び職員の皆様をお願いいたします。会議記録を作成する関係上、発言の際は委員長の許可を得た上でお手元にありますマイクスイッチをオンにして、赤色のランプが点灯してから発言願います。また、発言終了後は、マイクスイッチをお切りくださいますようお願いいたします。

なお、委員長の許可がない発言については、会議記録上、不規則発言として記載されることとなりますので、徹底してくださるようお願いいたします。

それでは、会議次第に従い進めてまいります。

### 【所管事項の報告】

○成田委員長 初めに、所管事項の報告を受けます。

順次報告願います。大里部長。

○大里産業部長 それでは、産業部関係の所管事項についてご報告いたします。

資料の 2 ページをお願いします。

初めに、農業振興課関係の 1 点目、「令和 6 年度食の交流まつりの開催について」であります。都市農村交流を実施している葛飾区四つ木地区へ本市の生産者が訪問し、農産物の販売を通して交流を行うイベントを 11 月 16 日、17 日の両日実施いたしております。

当日は快晴に恵まれたこと、よつぎ小学校及び P T A の皆様、四つ木鹿角の会のご協力により、多くの方々へ周知できたこともあり、昨年度を大幅に上回る 7,500 名の方からご来場いただいております。

会場では鹿角特産のリンゴ、新米、ネギなどの野菜といった農産物、みそつけたんぼやかづの牛商品など、次々にお買い求めいただきました。

また、ジャガイモ、ニンジンの詰め放題、淡雪こまちが当たるお米計量クイズやかづの牛セットなどが当たる抽選会なども人気を集めました。販売やイベントにはよつぎ小学校 P T A やその児

童の皆様、延べ100人以上のボランティアからご協力いただいたほか、四つ木鹿角の会の皆様は鹿角ホルモンやきりたんぼ鍋の販売をお手伝いいただくなど、多くの四つ木地区の方々に支えられて成功できたと思っております。

引き続き、四つ木地区とのご縁を大切にしながら、関係機関並びに実行委員会においてアイデアを出し合い、本イベントの定着とさらなる盛り上げにつなげてまいります。

次のページをお願いいたします。

2点目の「かづの牛の「めざましテレビじゃんけん企画」について」であります。実施期間は11月4日から9日までの6日間。フジテレビの朝の情報番組「めざましテレビ」のプレゼントコーナー「めざましじゃんけん」の賞品にかづの牛を出品したもので、期間中22回にわたり「かづの牛」がPRされております。

めざましテレビは、2018年から5年連続民放同時間帯視聴率第1位であり、番組平均個人全体視聴率は4.3%で約1,000万人が視聴しております。

この企画に対する応募総数は34万件あまりとなり、全国的にかづの牛をPRすることができたと思っております。

なお、賞品は焼肉ファミリーセットで、当選者数である40名に11月までにお届けしております。

このほか、かづの牛振興協議会では、SNSを活用したPR広告や料理研究家によるレシピ開発、情報発信を行うなど、かづの牛の魅力を広く発信しております。こうした取組を通じて、かづの牛のブランド力の強化を関係機関と連携して、引き続き進めてまいります。

以上で所管事項の説明を終わります。

○成田委員長 所管事項の報告が終わりましたので、これより質疑を受けます。

質疑・ご意見等がございましたら発言願います。戸田委員。

○戸田委員 まず、交流まつり、よつぎ小学校ですが、来場者数が増えて何よりだと思いますが、一番の人気商品は何かということと、実際どれくらいの売上げがあったのか、その辺がもし分かればお聞かせください。

○成田委員長 丸岡主幹。

○丸岡農業振興課主幹 兼 構造改革推進班長 人気なのは、やはりリンゴ、あと米、ネギです。こちらのほうが一番大きく売上げ的に、持って行った量もですけれども、多かったと考えております。

売上げの規模ですけれども、およそ300万円となっております。

○成田委員長 戸田委員。

○戸田委員 もう1点。

次のページの、めざましテレビじゃんけん企画、かづの牛の3点セット、ローズ、モモ、バラとありますが、これは値段にするとどれくらいの価値があるものなんですか。

○成田委員長 石木田主幹。

○石木田農業振興課主幹 兼 ブランド作物推進班長 このファミリーセットについては、5,100円の定価となっております。

○成田委員長 ほかにございませんか。館花委員。

○館花委員 食の交流まつりということで、私も当日ちょっと時間が取れたので行ってきましたけれども、大変職員の皆さんが裏方になって、きりたんぼを焼いていたりだとか、すごく苦勞されたなというところで、今回私3回目だったんです。前の副市長とも2回ほど一緒に行かせていただいて、今回行って3回目なんですけれども、今回が一番人数が多かったのかなと感じております。

それで、このボランティアとしてよつぎ小学校の父兄から100名ほど頑張ってこの取組について一生懸命やっただいて、本当にありがたいなと思っております。

こういった事業を通じて、今後、こちらのよつぎ小学校との関係性はすごく強固なものになってい我想いますので、そちらから何とか鹿角市のほうに移住というか、そういったものにつなげられればなど。あんなにも人がたくさんいて、体育館に入れにくいくらいおりましたよね。そういった人でも、何かででも、こちらに興味を持っていただいて、食の交流だけではなくて、移住につなげられるような方策も取ってもらえれば、すごく私としてはありがたいかなと思っているんですけれども、こういった考えについてはどうでしょうか。

○成田委員長 丸岡主幹。

○丸岡農業振興課主幹 兼 構造改革推進班長 政策的な回答は難しいところもあるんですけれども、実は四ツ木に行った翌週に、政策企画課のほうで移住交流フェアを東京で行うということで、こちらの会場のほうにも移住交流フェアのチラシを置きまして、周知をしております。

以上です。

○成田委員長 館花委員。

○館花委員 そうですね。前回行ったときには、葛飾区の地域振興部のほうとか、名刺交換もさせていただいたんですけれども、鹿角のアピールということでは皆さんしっかりやっているの、つなげていただければすごくありがたいなと思っております。これからも頑張ってください。

以上です。

○成田委員長 ほかにございませんか。栗山委員。

○栗山委員 めざましテレビじゃんけんの件ですけれども、たまたま私も見ました。これはすごいな

と。全国区のネットワーク、皆が一番見る時間帯で、まあ物がもらえるから応募総数は結構あるんでしょうけれども、これは、ここに入っていくのに、例えばほかの経費であったり商品代以外の経費であったりとか、たまたまプロデューサーが知り合いだったとか、何かその、ここに出るきっかけといたしますか、あとは申込みに経費がもしかかかっていましたら、そこら辺を少しお知らせください。

○成田委員長 石木田主幹。

○石木田農業振興課主幹 兼 ブランド作物推進班長 まず、このめざましテレビの企画のきっかけにつきましては、昨年度秋田テレビの担当の方から、秋田県の枠が一つあるということで、県内に営業はしていたようなんですが、鹿角のほうでの商品は結構ブランド商品が多いということで、直接営業の方が「鹿角市さん、どうですか」ということでお話を伺っていたところです。

経費の話にもなってくるんですが、この経費について、商品代と、あとはこのめざましじゃんけんに出る企画料ということで、110万円ほどかかります。それで、その110万円の経費については、かづの牛振興協議会で、鹿角市と秋田県、あと畜産農協さんでそれぞれ負担金を出し合いながらやったところで、6月補正で市のほうでも負担金を増額補正させていただいているものです。

以上です。

○成田委員長 栗山委員。

○栗山委員 分かりました。放送回数とか、全国ネットということを考えたら全然高くないのかなと思います。それで、インパクトもありますし。鹿角という音が全国に響くだけでも、秋田県人しか見ないテレビに出るよりはよほどいいと思います。たまたま出川哲朗の充電バイクの番組で、「CMを出しませんか」という営業がうちにも来ましたが、おそらく県内にしか流れないであろうものでも結構な額でした。中途半端でなく、本当に効果が出そうだなという思いがありますので、またいろいろアンテナを張って、この後もよろしくお願いします。

以上です。

○成田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、所管事項の報告についてはこれで終わります。

#### 【案 件】 (1)付託事件の審査について

○成田委員長 次に案件に入り、付託事件の審査を行います。

初めに、議案第61号「市道路線の認定について」を議題といたします。

当局の説明を求めます。田口課長。

○田口都市整備課長 議案書の 14 ページをお願いいたします。

議案第 61 号「市道路線の認定について」であります。

提案理由は、道路の新設に伴い、市道路線に認定しようとするものであります。

次のページをお願いいたします。また、併せて 16 ページの位置図を参照願います。

認定する路線は、整理番号 2906。路線名、扇ノ間 10 号線。起点は花輪字扇ノ間 69 番地 1。終点は花輪字扇ノ間 63 番地 1。

市道扇ノ間 5 号線に接続しており、延長は 180.79 メートル、幅員 6.0 メートルであります。

本路線は、開発行為による宅地分譲地内を通る路線で、開発行為完了に伴い市に帰属され、認定要件を満たしていることから、市道認定するものであります。

説明は以上です。

○成田委員長 説明が終わりましたので、これより質疑を受けます。質疑・ご意見等がございましたら発言願います。館花委員。

○館花委員 市道路線に認定するところですが、これから冬の除雪は、ここの路線も入るのでしょうか。

○成田委員長 金澤技術監。

○金澤都市整備課技術監 兼 道路河川班長 除雪は入ります。

○成田委員長 館花委員。

○館花委員 確かにね、6 メートルの幅員ということですから、車も交差すると思いますので、そういった部分はしっかり除雪のほう、入っていただくようお願いしたいと思います。

以上です。

○成田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、本議案に対する質疑を終結いたします。

次に、本議案について討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、これより採決いたします。

議案第 61 号について、原案のとおり可決すべきものと決するにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ご異議ないものと認め、議案第 61 号は、原案のとおり可決すべきものと決します。

次に、議案第 62 号「市道路線の廃止について」を議題といたします。

当局の説明を求めます。田口課長。

○田口都市整備課長 議案書の 17 ページをお願いいたします。

議案第 62 号「市道路線の廃止について」であります。

提案理由は、旧浜田住宅の廃止に伴い、一般交通の用に供する必要がなくなったことから、路線を廃止するものであります。

次のページをお願いいたします。また、併せて 19 ページの位置図を参照願います。

廃止する路線は、整理番号 3687。路線名、十和田停車場北線。起点及び終点は、十和田錦木字浜田 82 番地。延長は 27.0 メートル、幅員 2.05 メートルであります。

以上で説明を終わります。

○成田委員長 説明が終わりましたので、これより質疑を受けます。質疑・ご意見等がございましたら発言願います。栗山委員。

○栗山委員 旧浜田住宅の廃止に伴いということですが、この旧浜田住宅がなくなれば、基本的にはもうその奥とか周辺に、この道路を利用される方がいなくなるということの理解でよろしいでしょうか。

○成田委員長 土館主幹。

○土館都市整備課主幹 兼 計画管理班長 今、委員がおっしゃったとおりの認識で合っております。

○成田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、本議案に対する質疑を終結いたします。

次に、本議案について討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、これより採決いたします。

議案第 62 号について、原案のとおり可決すべきものと決するにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ご異議ないものと認め、議案第 62 号は、原案のとおり可決すべきものと決します。

次に、議案第 70 号「令和 6 年度鹿角市一般会計補正予算（第 9 号）中、歳出 5 款労働費、6 款農林水産業費、7 款 1 項 1 目商工総務費、2 目商工振興費、2 項観光費、8 款土木費」を議題といたします。

これより、当局の説明を求めますが、説明は一括して受け、その後、款ごとに順次質疑を受けてまいりたいと思います。

それでは、説明をお願いいたします。金澤次長。

○金澤産業部次長 兼 産業活力課長 補正予算書の 28 ページをお願いいたします。

5 款から説明をしたいと思います。

下の段の 1 項 1 目労働総務費のコード 0005「人件費」の補正は、職員の給料月額、期末手当、勤勉手当の支給割合の改定などに伴う調整であります。

以下、6 款から 8 款までの人件費の補正につきましては同様でありますので、説明を省略いたします。

5 款は以上です。

○成田委員長 佐藤課長。

○佐藤農業振興課長 30 ページをお願いします。

6 款農林水産業費であります。6 款 1 項 8 目畜産管理費、「畜産施設管理費」の修繕料 25 万 7,000 円は、畜産総合振興団地の家畜運搬車について、今年度行う車検に合わせ、修繕が必要となり、補正をお願いするものです。

○成田委員長 北方課長。

○北方農地林務課長 引き続き 10 目農地費のコード 0501「市単独農業用施設整備事業」、工事費 653 万 2,000 円につきましては、令和 4 年 8 月発生の農業用施設災害復旧事業「永田根瀬地区」の頭首工におきまして、土砂流出による河床低下が進んでおり、新たに盛土工事等の追加工事が必要となりましたので、増額補正をするものです。

6 款につきましては以上であります。

○成田委員長 金澤次長。

○金澤産業部次長 兼 産業活力課長 続きまして、7 款についてご説明いたします。

31 ページをお願いします。

7 款 1 項 2 目商工振興費のコード 0201「中小企業振興対策事業」の「中小企業振興資金融資保証料補給金」28 万円は、市の制度資金利用に係る保証料補給を行うものですが、今年度の実績見込みに伴い増額するものです。

次のコード 0220「産業人材育成支援事業」の「産業人材育成支援事業費補助金」77 万 9,000 円は、企業等に対し従業員等の資格取得費用の一部を助成しているものですが、今年度の利用が増加していることから、今後不足が見込まれる分を追加するものです。

32 ページをお願いします。

下の段、7 款 2 項 2 目観光振興費のコード 0226「観光アクセス充実対策事業」の「大館能代空港

利用促進助成金」250万円は、9月補正でも増額補正したところですが、さらに利用が好調に推移していることから、助成金を追加するものです。

7款は以上です。

○成田委員長 田口課長。

○田口都市整備課長 続きまして、8款土木費についてご説明いたします。

33ページをお願いします。

2項2目道路橋りょう維持費のうち、コード0110「道路橋りょう維持管理費」であります。4月からの舗装穴埋め補修の実績から、今後必要となる補修費の不足が見込まれることから、委託料124万円を追加するものです。

2項3目除雪対策費のうち、コード0205「除雪対策事業」であります。今年度の除雪計画に基づき、除雪路線に係る時間、単価等の見直しを行い、委託料3億円を追加するものです。

次のコード0210「融雪施設整備事業」であります。労務単価や諸経費率等の改定により、市道湯坂線融雪施設更新工事発注に係る予算が不足するため、工事請負費161万7,000円を追加するものです。

次のページをお願いします。

2項4目交通安全施設費のうち、コード0305「交通安全施設維持管理費」ですが、4月からの街灯修繕の実績から、今後必要となる修繕料の不足が見込まれることから、183万3,000円を追加するものです。

以上で説明を終わります。

○成田委員長 説明が終わりましたので、これより質疑を受けます。

初めに、5款労働費について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、次に、6款農林水産業費について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。館花委員。

○館花委員 30ページのコード0501、こちら、令和4年度に災害を受けたということで、金額的にも大きく膨れ上がったその要因を教えてください。

○成田委員長 柳館主幹。

○柳館農地林務課主幹 兼 農地整備班長 令和4年8月に発生した災害復旧なんですけれども、今までいろいろ単価の高騰などもあり、そのたびに額が膨らんでいったところだったんですが、今回の補正につきましては、永田根瀬地区の頭首工の工事ということで、9月末に発注、着工したとこ

ろですが、現地については、やはり災害が起きたのが2年前ということもあり、着工するまでの間に土砂が流れていったりして河床が低くなったところもあったので、今回、元の高さに戻して来るまでの土を運んできて埋める作業が追加になったということに対する今回の補正でございます。

○成田委員長 館花委員。

○館花委員 4年の災害から何度か入札もやってきたわけでございますけれども、そのたびに不落とということできたはずです。そういったところ、今の労務費だとか、いろんな資材の高騰、そういったものもいち早くそちらのほうでもしっかりと把握しながら、不落にならないように、これからはしっかりと見ていただきたいと思います。

これは農林だけでなく、土木のほうもそうですけれども、常に新しい情報を入れてやっていただければありがたいと思います。よろしくをお願いします。

以上です。

○成田委員長 ほかにございませんか。浅石委員。

○浅石委員 30 ページで種苗交換会のことを説明されていますけれども、今回は立てた予算どおりにいったのかどうか。総枠で。

○成田委員長 熊谷主幹。

○熊谷種苗交換会事務局主幹 総額の予算的な話ですけれども、当初の予算から大きくずれることなく、予定どおりの執行で動いておりましたので、その旨ご報告いたします。

○成田委員長 浅石委員。

○浅石委員 いろいろなところに協賛金を募っていたわけなんですけれども、その辺も予定どおりに集まったということよろしいですか。

○成田委員長 熊谷主幹。

○熊谷種苗交換会事務局主幹 協賛金の額全体としては、当初の予算よりは少なくなったところもあるんですが、支出の部分についても削減に努めた形もありまして、トータルでは歳入歳出で、歳入が大幅に少ないとか、そういう事態にはならず終了いたしました。

○成田委員長 山崎局長。

○山崎種苗交換会事務局主幹 ただいまの熊谷主幹への補足なんですけれども、金額的には前回とほぼ同額でございます。ただそれは、コロナ禍もあったんですけれども、小坂町さんも加わることで、前回と同等を確保したというのが予算的なものです。ただ、件数的には、前回よりは大体1割くらいは減っております。

以上です。

○成田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、次に、7款1項1目商工総務費、2目商工振興費、2項観光費の、当常任委員会所管の7款について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。湯瀬副委員長。

○湯瀬副委員長 31ページの1項2目のコード0220「産業人材育成支援事業」77万9,000円についてですが、増額ということで、内容としてどういったものなのかなということを知りたいのですが、何かの講習であったり資格取得ではあると思うんですけども、どういったものが多いのか教えてもらえればと思います。

○成田委員長 鎌田副主幹。

○鎌田産業活力課副主幹 兼 商工振興班長 この産業人材育成支援事業につきましては、企業に従事する従業員の資格取得に関する補助金でございます。補助率は2分の1で、1企業当たり上限が20万円となっております。

先ほど、どういったものが多いのかということですが、今現在で23社40件申請がされていますが、その中身を見てみますと、一番多いのがフォークリフトの運転技能資格、それから玉掛技能の講習会、あと次に多いのが中型免許とか、こういった運転技能に係る資格が多いです。

最近ちょっと珍しいもので増えてきたのが、化学物質の管理者講習だとか、こういったものも増えてきていますので、基本的には企業側で従業員に資格を取らせながら、様々な仕事を回していきながら人手不足を補っていかうという方向性で資格取得が増えているものと考えております。

以上です。

○成田委員長 戸田委員。

○戸田委員 私も同じことをお聞きしたかったんですけども、1点だけ、今回77万9,000円の増額なんですけど、これは昨年度と比較して増えているんですか。件数的に。その辺お聞かせください。

○成田委員長 鎌田副主幹。

○鎌田産業活力課副主幹 兼 商工振興班長 実はこの産業人材の補助金につきましては、年度ごとにばらつきがございまして、昨年度は実績上たしか70万円ほどだったと思います。先ほども申し上げたとおり、近年人手不足ですので、人手不足を補おうということで、従業員に資格を取らせながら様々な仕事をさせていかうというところが見えるところで、今回増えてきているという感じを持っております。

以上です。

○成田委員長 戸田委員。

○**戸田委員** もう1点なんです、次の32ページの下のコード0226「観光アクセス充実対策事業」、好調に推移しているかと思うんですけども、これも昨年度と比較してどれくらい増えているのか。どんな感じなのか。その辺と、これはたしか5,000円だったと思いますが、これまでの利用件数ととも教えてください。

○**成田委員長** 泉澤副主幹。

○**泉澤産業活力課副主幹 兼 観光交流班長** とりあえず昨年度実績で申し上げますと、件数で1,231件、615万5,000円という支出となっておりますが、今年度に関しましては大幅に増加しておりまして、12月12日、昨日の時点で、延べ1,700人利用されておりまして、額としては850万円と大幅な伸びとなっております。

こちらのほうにつきましては、昨年度全体との比較のパーセンテージは出してはなかったんですけども、10月時点だと昨年度と比較して179%、11月だと136%と大幅な伸びを示しております。

以上となっております。

○**成田委員長** 戸田委員。

○**戸田委員** 伸びていて本当に何よりなんですけれども、この要因というのはどうなんですか。どういう形で分析されているのか。例えば増便、何便になったのかもよく私分からなくて……（「3便」の声あり）3便ですか。その辺が要因なのか、どのように考えていらっしゃいますか。

○**成田委員長** 泉澤副主幹。

○**泉澤産業活力課副主幹 兼 観光交流班長** 先ほど、増便して2便から3便になったということで、個人事業主の方も利用されているんですけども、以前よりも仕事というか、そういった面で使いやすくなった、帰りやすくなったという面もございますし、今まで市民にもなかなか周知されていなかったんですけども、皆さんこういう制度があるということをお知りになって使い始めた。高齢者の方にも大分浸透してきまして、こちらのほうに問い合わせがある際に、「初めて飛行機に乗るんですけども」というようなお話もありますので、そういった面で今まで利用されていなかった方にも広まってきたのかなと分析しております。

○**成田委員長** ほかにございませんか。栗山委員。

○**栗山委員** 同じく5,000円の補助の件ですが、恐らく、利用促進協会でしたか、あちらのほうでもいろいろ話合いをされていると思いますが、今後、この補助金はいつまで続ける予定なのか。とりあえず新年度予算にはまた入ってくるのか。あとはどのような分析をして、これはあくまでも3便化を固定するための狙いがあったと思います。それで先ほど話をされたように、やはり使ったことがないとか、大館・能代までの道路がよくなったので、使ってみれば意外と楽だなとかという話

も結構当たっていると思いますが、この5,000円が切れたときにどうなるのか、そのためにどういう戦略で今後持っていくのか、もしそういう情報がありましたらお願いいたします。

○成田委員長 泉澤副主幹。

○泉澤産業活力課副主幹 兼 観光交流班長 こちらの助成金につきましては、政策コンテストで2便から3便に増やしまして、コンテストということで、ほかの空港とも利用率を競っておりまして、それで評価されましてコンテスト枠の維持が継続されるかどうかというところもありますので、そういった面でいろいろと、利用促進協議会ははじめ、各自治体、周辺自治体も皆助成制度を設けているんですが、地元の方の利用が定着していくことが必要だということでこういった助成金の制度に取り組んでいるんですけども、来年度も予算要求はしてございます。ただ、このように皆さんに定着してきたということもありますし、利用が大幅に伸びてきていますので、なかなか今の5,000円というのを続けていくのは難しいかなという印象は持っております。

いずれにしても、利便性が向上されたことで、いろいろ利用される方も多くなって、ビジネスとか交流も活発化してくるということで認識しておりますので、今後ともいろいろな利用促進協議会ははじめ、利用については様々な方策を検討しまして、何とか対応していきたいと考えてございます。

○成田委員長 栗山委員。

○栗山委員 私も利用させていただいておりますが、多分乗られた方は分かると思いますが、行きはある程度いいんですけども、帰り、羽田ターミナルでの搭乗位置、すごい移動時間がかかるんです。プラス、大館能代空港というのは遅延率が高くて、発着率は少し低い。どうしてもガスがかかったり、風が強いところに無理やり空港をつくったものですから。

なので、いろいろな問題を多分、まあ鹿角市単独の話ではないので、利用促進のグループであったり秋田県であったりを通じて、その5,000円で人気があるうちにいろいろな諸問題を抽出して、少しでも改善していかなければ、多分切れた瞬間に意外とどんと落ちるのかなという心配もありますので、戦略的に進めていただければと思います。意見です。

○成田委員長 ほかにございませんか。鎌田副主幹。

○鎌田産業活力課副主幹 兼 商工振興班長 先ほどの戸田委員の質問に対しまして、産業人材育成支援事業の昨年度の実績、70万円ほどと申し上げたんですが、すみません、141万5,000円に訂正させていただきます。

件数的には42件で、今年度既に40件ですので、12月時点において昨年度の実績をほぼ達成しているということでございます。

以上です。

○成田委員長 ほかにございませんか。栗山委員。

○栗山委員 せっかく追加説明をいただいたので、産業人材育成支援事業なんですけれども、人気があつて数字が上がっていると、非常にいいことだと思いますが、その資格の種類、こちらから指定して、これとこれが対象になっていますという固定されたものなのか、それとも企業側から、こういったものもという要望があれば、それもどんどん対象に加えていくのか、そこら辺をお願いします。

○成田委員長 鎌田副主幹。

○鎌田産業活力課副主幹 兼 商工振興班長 資格の種類についてですが、こちらのほうは市のホームページなどに対象の資格ということで、大体200くらいの資格についてお示ししていますので、それを対象にしますけれども、時代的に必要な資格とか、様々変わってきますので、その都度検討しながら、その内容についてはホームページにアップしながらやっているところでございます。

○成田委員長 ほかにございませんか。湯瀬副委員長。

○湯瀬副委員長 観光について聞きたいんですけども、まずこちらの名目として、「観光アクセス充実対策事業」という名前ですが、鹿角市と空港のアクセスがすごい悪いわけで、そのアクセスをよくしないと促進が続いていかないのではないかなとも思うのですが、将来的にそういう、鹿角市と空港の行き来の部分、その点をどう考えているのかなと。車を運転して行ける人はいいんですけども、年配の人とか、孫さんとかが東京にいたりして、行きたいときにすぐ行けないとか、そういうのもあるので、将来的にその面をどう考えているのかなということをお聞きしたいです。

○成田委員長 泉澤副主幹。

○泉澤産業活力課副主幹 兼 観光交流班長 二次アクセスに関しましては、課題意識は持ってございます。一応、現在のところも大館能代空港と鹿角市を結ぶ乗合タクシーというものはございます。ただ、そちらのほうがなかなか認知が進んでいないというのがありますし、普通のタクシー料金等と比べるとかなりお安くはなっていますが、やはり3,000円ちょっと、ある程度の金額はしますもので、そこら辺でもう少し検討していく余地はあると思いますが、課題意識は持っていますので、今後どういうふうな形でできるか、いろいろと利用促進協議会を含めて検討してまいりたいと考えております。

○成田委員長 湯瀬副委員長。

○湯瀬副委員長 結構大きな課題だと思いますし、大館市では新しい実証実験とか始めているようなので、負けないようにというか、観光で来たとか、そういうお客さんもそっちに引き込まれる。こ

っち引き込んでしまわないと人数にも限りがあると思うので、これからいろいろ検討をお願いします。

○成田委員長 ほかにございませんか。山崎事務局長。

○山崎種苗交換会事務局長 すみません、先ほど種苗交換会の協賛金の件数の関係だったんですけども、一部訂正をお願いいたします。

協賛金と広告収入につきましてははトータルで100万円の増額と。前回と比べて100万円ほどプラスになってございます。また、件数につきましては、協賛金につきましては前回14件が今回18件でプラスの4件。また、広告につきましては、前回116件が今回は82件ということになってございます。

以上です。

○成田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、次に、8款土木費について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。浅石委員。

○浅石委員 34ページなんですけど、交通安全施設維持管理費のところ街灯の説明がありましたが、市内の街灯はほとんど蛍光灯からLEDに変わったと思いますが、あれから数年経ちますが、LEDが暗くなったという事例はあるんですか。

○成田委員長 金澤技術監。

○金澤都市整備課技術監 兼 道路河川班長 LEDが暗くなったというのはないんですけども、雷に非常に弱いので、それで今回の補正予算に関しても、維持管理費ですが、これは雷によるものがほとんどです。

○成田委員長 浅石委員。

○浅石委員 前々から感じているんですけども、新設の要望を出しても非常に通りにくいということで、ただ通学路とか何かには優先的にやってもらいたいんですけども、まだ予算的には厳しい状況なんです。

○成田委員長 金澤技術監。

○金澤都市整備課技術監 兼 道路河川班長 新設要望に関しては、街灯設置委員会を經由して設置の可否を決めるルールになっております。それで、その分が一応令和7年度分までの設置箇所はもう決まっておりますので、それが終わった後に、また街灯設置委員会を開いて、その要望の中身を精査させていただいて設置という流れになりますので、もう少し時間をください。

○成田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、以上をもちまして、本議案に対する質疑を終結いたします。

次に、本議案について討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、これより採決いたします。

議案第 70 号中、当常任委員会所管の補正予算について、原案のとおり可決すべきものと決する  
にご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ご異議ないものと認め、議案第 70 号中、当常任委員会所管の補正予算については、  
原案のとおり可決すべきものと決します。

次に、議案第 74 号「令和 6 年度鹿角市下水道事業会計補正予算（第 3 号）」を議題といたします。

当局の説明を求めます。大森次長。

○大森建設部次長 兼 上下水道課長 補正予算書の 87 ページをお願いいたします。

議案第 74 号「令和 6 年度鹿角市下水道事業会計補正予算（第 3 号）」です。

第 1 条、令和 6 年度鹿角市下水道事業会計の補正予算（第 3 号）は、次に定めるところによる。

第 2 条は、収益的収入及び支出の補正で、収入は第 1 款下水道事業収益に、支出は第 1 款下水道  
事業費用にそれぞれ 95 万 6,000 円を追加し、8 億 8,358 万 8,000 円とするものです。

第 3 条は、資本的収入及び支出の補正であります。次のページをお願いいたします。

収入は、第 1 款資本的収入に 17 万 9,000 円を追加し 4 億 8,411 万円に、支出は第 1 款資本的支  
出に 17 万 9,000 円を追加し、7 億 1,797 万 4,000 円とするものです。また、条文にありますとお  
り、予算第 4 条に定めた括弧書きを条文のとおり改めます。

第 4 条は、債務負担行為の補正で、現在使用している下水道事業受益者負担金システムの借り上  
げ期間が今年度末で満了となり、令和 7 年度当初から円滑な事務を行うため今年度内の契約が必要  
なことから追加補正するものです。

第 5 条は、議決を経なければ流用することのできない経費の補正で、収益的支出及び資本的支出  
の人件費において、113 万 5,000 円を増額補正することから、2,447 万 6,000 円に改めるものです。

次のページをお願いいたします。

第 6 条は、他会計からの補助金の補正で、一般会計からの補助を 4 億 9,773 万 3,000 円に改めま  
す。

令和6年11月29日提出。鹿角市長。

102ページをお願いいたします。

収益的収入及び支出です。

収益的収入ですが、1款2項2目他会計補助金95万6,000円の増額は、収益的支出の総額に合わせて一般会計からの補助金を追加するものです。

次のページをお願いいたします。

次に、収益的支出ですが、1款1項6目総係費は、県人事委員会の勧告に基づく人件費の調整であります。

次のページをお願いいたします。

資本的収入及び支出です。

資本的収入ですが、1款1項2目他会計補助金17万9,000円は、資本的支出の補正に伴う一般会計からの補助金を追加するものです。

次のページをお願いいたします。

次に、資本的支出1款1項4目総係費は、県人事委員会勧告に伴う人件費の調整であります。

以上で議案第74号の説明を終わります。

○成田委員長 説明が終わりましたので、これより質疑を受けます。質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、本議案に対する質疑を終結いたします。

次に、本議案について討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、これより採決いたします。

議案第74号について、原案のとおり可決すべきものと決するにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ご異議ないものと認め、議案第74号は、原案のとおり可決すべきものと決します。

以上で、当常任委員会に付託されました案件についての審査は終了いたしました。

## 【案 件】 (2) その他

○成田委員長 次に、その他に入ります。

委員の皆さん及び当局から、何かございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、その他についてはこれで終わります。

ここでお諮りいたします。

本日審査いたしました案件についての委員長報告書の作成についてであります。私と副委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ご異議ないものと認め、そのようにさせていただきます。

次に、当常任委員会の閉会中の審査事件につきましては、「農林業及び観光・商工業の振興について」並びに「都市施設の整備について」とすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ご異議ないものと認め、そのように私から議長に申出をいたしますので、ご了承願います。

#### 【閉 会】

○成田委員長 以上をもちまして、本日予定しておりました事項の協議は全て終了いたしました。

当局におかれましては、ただいま出されました要望、意見等について十分検討され、それぞれ措置願いたいと思います。

それでは、ただいまの時刻をもって産業建設常任委員会を閉会いたします。

なお、16日の会議は休会といたします。

大変お疲れさまでした。

午前10時53分 閉会